

# 代表質問

# 施政方針を問う!

筑紫野市議会では、市長が施政方針（市政運営の基本的な方向性）を示す定例会で、代表質問を行っています。各会派の代表が、市長の考えを質しました。

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像がご覧いただけます。なお、本会議開催時には、生中継もご覧いただけます。



## 代表質問



つくし野  
横尾 秋洋  
議員



### 社会情勢

**議員** 人口減少は、社会崩壊に繋がると言われている。例えば、地方公務員は2045年に20%不足、農業従事者は80%減と予測され、この問題に本格的に取り組む必要がある。具体的な方針と具体策の考えは。

**市長** 国や県、民間セクターとも連携し、役割分担を図り、子育て支援や教育の充実、産業振興と雇用の創出、市街地の形成、男女共同参画社会の実現など、自然増と社会増の両面からの対策を講じる必要があるが、第七次総合計画の推進が肝要であると考えている。

### 子育て・教育

#### 待機児童問題

**議員** 新たに認可保育所（定員150人）が設立されることで、待機児童及び隠れ待機児童を解消できるのか。

**市長** 入所保留とされた方々も含めた状況を踏まえ、解消に向けた施設整備を計画的に進めている。

#### 保育士の確保

**議員** 保育士不足は解消されたか。保育士の処遇改善の取組が必要では。

**市長** 保育士不足は、引き続きの課題と認識し、人材確保のため従来の処遇改善策を継続

しながら、養成校の訪問や説明会の実施等、積極的な働きかけを進めていく。

#### こども一時預かり事業

**議員** 保育所の一時預かり・病児保育「こども誰でも通園制度」など、子育て支援の充実を図るため、定員及び施設等を拡充すべきでは。

**市長** 施設の現状、ニーズ及び人材の確保等を踏まえ、各施設と連携しながら、実現可能な方策の検討を進めていく。

#### 子育て支援策

**議員** 医療費の自己負担軽減を18歳までにできないか。また、第2子以降の保育料や学校給食費の無償化など独自支援策を検討できないか。

**市長** 子ども医療費は、令和6年10月から中学生までを対象に更なる負担軽減策を講じていく。独自支援策は、国・県における子育て支援策の内容や他自治

体の状況を注視し、必要に応じて検討していく。

#### こども館

**議員** 児童館・子育て支援センターの機能を併せ持っており、中・高校生世代へ拡充し、ファミリーサポートセンターの一時預かりやこども誰でも通園制度などの施設としても整備することで、子育て支援の充実を図ることができるが、見解は。

**市長** こども大綱に基づく居場所のひとつとして、必要な施設や仕組み、体制について、こども館等の設置も含めて検討を深めていく。

#### こども食堂

**議員** 開催している会場も様々であるが、各小学校単位での運営支援まで行うべきではないか。

**市長** まずは、居場所のひとつとして、既存の団体の繋がりがつくりや、実態の把握に努めていく。

#### 小学校の大規模校

**議員** 過大規模校の解消は、重要な課題である。生じる課題と今後の対応方針は。また、校舎の増築及び移転新築、通学区域変更の考えは。

**教育長** 安全性及び快適性の確保が求められる。今後の児童生徒数の推計を念頭に置いた校舎等整備が必要であると考え。増築等、通学区域の変更は、学校の現状に応じ検討していく。

#### スポーツ・文化

#### スポーツ施設整備

**議員** 新たにスポーツ推進計画を策定する予定だが、審議会の意見を踏まえて、総合体育館・グラウンド・市営プールなどの整備方針を固めるということなのか。

**教育長** 策定中のスポーツ推進計画の基礎調査となるアンケートを

実施し、その結果や有識者、関係団体で構成するスポーツ推進審議会での議論も踏まえ、計画の中で整備の方向性を示したいと考えている。

日本遺産「西の都」

議員 市の構成文化財に関し、活用の取組は、

教育長

令和6年度は、阿志岐山城跡の保存活用の計画を策定する。今後も、関係機関等とも更なる連携を図り、引き続き情報発信や活用に取り組んでいく。

自然・環境

脱炭素社会

議員 「ゼロカーボンシティ宣言」を行う考えは。

市長

第三次環境基本計画の見直しで有効な取組の検討を行い、状況等を見ながら判断していく。

水道管の耐震化

議員 老朽管更新基本

計画を踏まえた配水管の敷設替えを実施しているが、令和4年度末で約18%と低い状況である。震度6強が発生した場合、送水に問題はないのか。また、耐震化工事の取組を加速する必要があるのでは。

市長

平成20年度から新設工事や老朽管更新工事で、震度6強に対応した管を敷設することで耐震化に取り組んでいる。今後も経営状況を鑑みながら、広範囲に影響を及ぼす等優先度の高い老朽管から更新し、耐震化を推進していく。

産業振興

企業誘致

議員 企業誘致は、雇用機会の拡大、恒常的な税収の確保、産業振興人口動態などに好影響を与える。企業誘致に関し、具体的な取組の考えは。また、新たな部署を設けるなど組織体制づくりが必要で

は。

市長

土地利用や開発の相談に応じながら、民間活力を活かした取組を進め、雇用の拡大や地域経済の活性化に繋げていきたいと考えている。また、現時点では、民間活力を活かした企業立地を進めているので、都市計画課を所管としている。

観光振興

議員

外国人観光客誘客のための施策と、外国人観光客を誘客することをどう捉えているか。

市長

本市への観光入込客数を増やすための重要な取組と考えており、現在進めている観光ルート整備事業において設置する観光情報板に多言語化を目的としたQRコードで魅力的な観光情報を提供し、シティブロモーションを活用しながら、新鮮かつ効果的な観光情報を発信して誘客に努めていきたいと考えている。

有害鳥獣対策

議員 この対策は、農林事業者及び地域住民にとって深刻な課題。新しい手法や、広域連携も含めた対策の考えはないか。

市長

県や近隣自治体、鳥獣被害防止対策協議会などとの連携を図りながら検討していくと共に、同協議会の支援の拡充に努めていく。

森林環境譲与税

議員

新年度から個人に課税されるが、事業の見える化が必要では。

市長

市産材を活用した公共施設での木材の利用促進などに向けた取組を検討していく。

農業者支援

議員

半農半X（エックス）、多業農家の生活に注目が集まっている。移住を促す観点からも、このような形態の農業者へ支援を行うことができるか。

市長

今後の担い手の減少対策として、人材を育成していくことは重要であると考えてお

り、国、県の動向を注視しながら検討していく。

福祉・健康

地域包括ケアシステム

議員

目標年次である2025年が迫ってきたが、進捗状況と課題は。

市長

地域の実情に応じた見守りと情報共有の場の構築が進んでいる。課題は、生活支援の仕組みづくりにおける担い手の育成であると捉えており、人材の掘り起こしや支援策の充実に努めていく。

带状疱疹等の予防接種

議員

高齢者の方からは「带状疱疹ワクチン」、子育て世代からは子どもに対する「インフルエンザワクチン」の助成を待ち望む声が寄せられている。これらの予防には、ワクチン接種が有効であり、事前に予防することで医療費の削減にも繋がること

から、新たに助成を検討しては。

市長

任意接種のワクチンは、有効性や安全性を踏まえ、個人の判断により、接種を受けて頂くため、助成には慎重な判断が必要と捉えている。今後の国の定期接種化の動向を注視し、必要な対応を検討していく。

防犯・防災・街づくり

災害対策

議員

被害想定を中心とした防災計画の見直しを行う考えはないか。また、市全体を対象とした防災訓練を実施すべきと考えるが、見解は。

市長

福岡県の動向を注視していく。また、全体訓練は、太宰府市との合同総合防災訓練で、今回の地震災害を踏まえた訓練となるよう、両市で協議していく。



防犯カメラ

**議員** 本市の防犯カメラの設置台数は決して多いとは言えない。今後、防犯カメラの増設についての考えは。

市長

地域が設置する防犯カメラにかかる費用の一部を補助するとともに、市としても県補助を活用した設置に取り組んでいく。

再犯防止推進計画

**議員** 関係各課で、協議を進めていくとのことだったが、具体的にどのような進めていくのか。

市長

関係機関からの意見聴取や他自治体の計画について調査研究を行っていく。

JT九州工場跡地

**議員** 本年度の調査研究の結果と具体的な活用方法をどう考えているか。仮に公共施設を建設する場合、将来負担を踏まえた維持管理・更新など財政状況



JT九州工場跡地

の見通しをどう考えているか。

市長

公有地の拡大の推進に関する法律に基づき届出がなされたため、用地取得に向けた交渉等を行っていきたいと考えている。土地利用の方針や計画は、諸条件が整い、市が取得することになれば、地域の皆様のご意見を伺いつつ、公共施設の集約化・効率化、民間活力の導入など、公共施設等総合管理計画に掲げる方針を勘案しながら、相応の期間をかけて検討していきたいと考えている。

国道3号  
バイパストンネル

**議員** 安全対策に関し、今年度と来年度の具体的な取り組みは。

市長

今年度、関係機関等との協議やトンネル周辺の現地調査、測量を行っている。来年度も、国や警察との協議を重ね、多角的な視点をもって、安全確保の実現に向け取り組んでいく。

地域公共交通

**議員** A-Ondemandバスの導入はもとより、Maasや自動運転バスの導入、ライドシェアの検討はどのように進めるのか。

市長

A-Ondemand交通など新たなモビリティサービスのノウハウを有する交通事業者と協定を締結し、協議研究の場を設けることで、地域公共交通計画に掲げる施策の具現化を進めていきたいと考えている。また、自動運転

行財政運営

ふるさと納税

**議員** 返礼品の発掘及び地場産業の開拓の取組を進めるために専任担当者を配置し、推進すべきと考えるが、見解は。

**市長** 当面は現在の体制で、事業者の開拓と返礼品の発掘を進め、寄附金額や謝礼品数等の動向を踏まえながら、必要に応じて検討していきたいと考えている。

バスやライドシェアは、国において社会実装に向けた課題の整理等が進められているので、この動向を注視していきたいと考えている。

公有地の活用

**議員** 旧市庁舎・ジャスコ跡地・老朽化した農業者トレーニンングセンター・二日市コミュニティセンター等の検討された結果と活用方

法は。本庁舎のふれあい広場の平常時の活用や緑化等に取り組みべきでは。

市長

旧庁舎跡地及びジャスコ跡地は、現在、コミュニティの区域やコミュニティセンターのあり方、あるべき姿について、議論をして頂いている状況であることも踏まえ、その時の情勢に応じて検討していく。農業者トレーニンングセンター等の公共建築物は、公共施設等総合管理計画に基づき、引き続き維持管理に努めていく。また、ふれあい広場は、災害時の活用を前提とし、平常時の活用について、

緑化の整備を行うとともに、様々な活用ができるよう進めていく。

地域コミュニティ

議員

あるべき姿は、行政が方向性を示し、それをベースに、協議会・区長会・コミュニティセンターで検討するべきでは。

市長

「筑紫野市地域コミュニティ基本構想」を見直すなかで、地域課題の解決に向け、各コミュニティ運営協議会と調整を行いながら、方向性を検討していきたいと考えている。

令和6年度の予算編成

**議員** 住みたまち日本一にするための予算配分は出来たのか。

市長

規律ある財政運営という大前提は維持しながらも、第七次総合計画における重点施策、及び計画の施策体系を踏まえながら、予算を編成している。



解体後の旧市庁舎跡地



市民会議  
上村 和男  
議員



## 人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

子ども・子育て

議員 ことも部設置への市長の思いは。

**市長** 将来のまちづくりを担う子どもたちの健全な成長を促すため、保育の受け皿整備や保育人材の確保、子どもへの相談体制の充実など、多様化する子育てニーズへの対応はもとより、教育現場とのさらなる連携により、第七次総合計画の重点施策にも掲げる「こともまんなか社会の実現」に向けて取り組んでいきたいと考えている。

**教職員の働き方改革**  
**議員** 教職員の働き方改革をどう進めていくのか。

**市長** 校務のICT化や学校通信環境の整備等による働きやすい職場環境の整備に加え、教員業務の支援にあたる人材の有効活用などにより、教職員が児童・生徒と向き合う時間や教材研究等の時間を確保できるよう取組を進めていく。



小学校でのICTを使った授業

インクルーシブ教育・同和教育の推進

**議員** インクルーシブ教育、人権・同和教育はどのように推進するのか。

**市長** インクルーシブ教育については、国のインクルーシブ教育システムの理念に基づき、障がいの有無にかかわらず、可能な限り共に学ぶことを目指し、個に寄り添った指導や支援を行う、特別支援教育の推進が大変重要であると認識しており、支援体制のさらなる充実を図っていく。  
**人権・同和教育**については、教育行政の主要施策と位置づけ、人権尊重のまちづくりの実現に向け、学校での教科指導、学級活動や、人権問題市民懇談会、人権・同和問題講演会など、あらゆる機会を通して、人権意識の高揚に努めていく。

## 市民が織りなすスポーツ・文化のまちづくり

第七次総合計画

**議員** 第七次総合計画に基づいてどのように進めていくのか。

**市長** 総合計画に基づき4年間の教育施策大綱を策定し、毎年度の事業については教育振興基本計画に沿って推進していくが、スポーツと文化における各種事業を推進するに当たっては、市民の意見等をできるだけ反映させていきたいと考えている。

## 自然をまもり未来を育むまちづくり

循環型・脱炭素社会

**議員** 循環型、脱炭素社会の形成は具体的にどのように進められるのか。

**市長** 第三次環境基本計画の見直しを行い、市民や事業者、行政の役割など、それぞれの活動につながるよう、具体的には、「デコ活」やペットボトルの水平リサイクルなどの啓発等を行っている。

## 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

地域経済活性化

**議員** 昨年3月議会で議決した、地域経済活性化に関する要望書をどのように受け止め、実行されるのか。

**市長** 依然として物価高騰などの影響を受け続けている事業者をはじめとする市民の現状を適切に把握し、今後も時機を逸することなく地域経済活性化に取り組んでいく。

**JT跡地**  
**議員** JT跡地についてどのように検討されるのか。

てきたのか。

**市長** 公有地の拡大の推進に関する法律に基づき届出がなされたので、まずは、用地取得に向けた交渉等を行っている。土地利用の方針や計画については、諸条件が整い、市が取得することになれば、相應の期間をかけて検討していきたいと考えている。



JT九州工場跡地

地産地消

**議員** 地元農産物の小中学校や保育所の給食への活用による地産地消の推進は考えられないか。

**市長** 現在も地元農産物を、小中学校は毎月



の「地場産献立」、保育所は毎月の「食育の日」に合わせて活用している。今後も引き続き、関係機関へ地元農産物の提供を積極的に働きかけ、より多くを給食に活用することで、地産地消の推進に取り組んでいく。

**支え合い、暮らしに寄り添う健康・福祉のまちづくり**

**介護の人材不足**

**議員** 高齢者介護における人材確保をどのように考えているのか。

**市長** 国・県の施策に注視し、市においても介護事業者等の意見を聴きながら、就職相談会の開催等の取組を検討していく。

**地域包括ケアシステム**

**議員** 地域包括ケアシステムの構築が迫っているがどのように推進していくのか。

**市長** 地域の実情に応じた見守り活動が進んでおり、今後は、担い手の育成等を通じて、生活支援に繋がるよう取り組んでいく。



地域の助け合い

**障がい者福祉**

**議員** 障がい者福祉の充実が計画に基づき、どのような考えで推進していくのか。

**市長** 障がいのある人が住み慣れた地域で自立し、安心して生活し、個人の尊厳やそのらしい生き方が尊重されるよう、第4期障がい者福祉長期行動計画に掲げた7つの基本目標に沿い、施策を推進していく。

**地域コミュニティ**

**議員** 地域共生社会の構築は、地域コミュニティの役割が重要である

が、どのように支援していくのか。

**市長** コミュニティの役割が重要であると認識している。今後、重層的支援体制の整備を進めるにあたっては、

コミュニティを初め、地域における既存の機関と共に、本市としての支援体制を整備・検討していく。

**同和問題の解決**

**議員** 同和問題の解決に向けてどのように進めていくのか。

**市長** 行政の責務として、「筑紫野市人権都市宣言」及び「部落差別の解消の推進に関する条例」の理念に基づき、人権意識涵養のための教育・啓発をはじめ、様々な取組を行っているところである。今後も、同和問題の早急な解決を目指し、差別のない社会の実現に努めていく。

**安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり**

**能登半島地震から**

**議員** 防災について、令和6年能登半島地震から何を学んだのか。

**市長** 市民の皆さまに災害に備える防災意識を持っていただくための啓発を行うとともに、市として市民の安全安心を守るためにできる限りの体制整備と必要となる資機材の備蓄等に取り組んでいく。



防災訓練

**地域公共交通**

**議員** 新たに策定される地域公共交通計画に基づく交通網の整備はどのように進めるのか。

**市長** 新モビリティサービス等のノウハウを有する交通事業者と協定を締結し、実務的な協議研究の場を設けることにより、地域公共交通計画に掲げる施策の具現化を進めていきたいと考えている。



コミュニティバス「つくし号」

求められる能力や役割を適切に認識し、その能力を十分に発揮することができるよう職場環境の整備や外部研修機関への職員派遣をはじめとする研修の充実に取り組んでいく。

**令和6年度予算編成**

**市長の思い**

**議員** 令和6年度予算は、どのような市長の思いをベースに編成されたのか。

**市長** 規律ある財政運営という大前提は維持しながらも、「住みたまち日本一」に一步近づけるよう、第七次総合計画における重点施策、及び計画の施策体系を踏まえながら、予算を編成している。

**政策実現のための市民目線の行財政運営**

**議員** 職員の人材育成をもっと充実させ、推進すべきではないか。

**市長** 社会情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応し、自ら考え、判断できる人材を育成するため、職員一人ひとりが



公明党筑紫野市議団  
**坂口 勝彦**  
議員



## 人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

**議員** こども誰でも通園制度の本格実施に向け、今後どのような準備や検討が必要となるのか。

**市長** 定期利用や自由利用、専用スペースやスタッフを確保する一般型や欠員枠を活用する余裕活用型等の様々な実施方法が想定されていることから、待機児童解消の取組と併せて各施設と連携しながら実施可能な手法の検討を進める。

**議員** 指導者用デジタル教科書導入で、教員・児童生徒への効果と、今後の導入科目の見直しは。

**教育長** 映像機材等のデジタル技術を活用したICT教育の推進に寄与するとともに、授業準備時間の削減等の教員の働き方改革への効果が期待できる。教科書の採択替えに合わせて、令和6年度に小学校全教科、令和7年度に中学校全教科の導入を検討している。

## 市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり

**議員** 文化会館を中心として、文化芸術活動の振興に努めるとあるが、バリアフリーの観点から、整備が必要では。

**市長** 文化会館は40年前に建設されたこともあり、さらなるバリアフリー化を進めていくことになるが、今後、

建物の大規模改修を進める際に、実施していきたいと考える。

## 自然をまもり未来を育むまちづくり

**議員** 災害廃棄物の処理は、今後、どのように対策を講じるのか。

**市長** 現在、災害廃棄物処理計画を策定中であり、策定後は計画の基本的な考え方をコミュニティ運営協議会などに説明していく。

**議員** 地域猫など動物愛護活動への支援は、強化されないのか。

**市長** 現在行っている支援に加え、活動への新たな本市単独の支援を行う予定としている。

## 強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

**議員** 商工業や観光振興のさらなる発展のため、新たに商工観光振興計画を策定しては。

**市長** 商工会や観光協

会と連携しつつ、筑紫野市総合計画に基づき施策の目指す姿を推進している。新たな計画の策定は、各種計画と整合を図る必要があることから、今後時期をみながらの検討課題とする。

**議員** 農業経営を持続できる環境整備や次世代人材育成のため、支援対象者の相談体制の充実が必要では。

**市長** 福岡農林事務所、県普及指導センター、JA筑紫など関係機関と連携した相談体制を整えている。今後も様々な機会を捉えた相談体制の周知に努める。

## 支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり

**議員** 介護、福祉の需要の増大が見込まれるが、人材確保をどのように進めていくのか。

**市長** 国・県の施策を注視し、就職相談会の開催を検討するなど、介護人材の確保に取り

組んでいく。

## 安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

**議員** 市営鷺田川流域の早急な対策を。

**市長** 現在、情報収集に努めている。二日市地区を中心とした周辺流域の治水対策のための基本計画を令和6年度に策定していく。

**議員** リ災証明書交付の被災者支援業務DX化の考えは。

**市長** マイナポータルを経由したオンライン申請の導入を進めるとともに、他団体の事例について情報収集に努めていく。

**議員** 地域特性や公園種別に合わせた整備の中で、健康づくりや防災機能を備えた公園再生への見解は。

**市長** 施設の老朽化に伴う公園の再整備に併せて検討していく。

## 政策実現のための市民目線の行政運営

**議員** 行政手続きのデジタル化に向けて、課題と今後の見直しは。

**市長** 自治体情報システムの標準化や窓口DX、オンライン申請の普及など多岐にわたる取組が必要となる。新たに設置するDX推進担当を中心として、関係各課との連携を図りつつ、民間事業者の優れた技術を効果的に活用しながら、積極的に推進していきたいと考えている。

**議員** 地域コミュニティ推進条例の補完性の原理にある共助による解決に向けた支援は十分であるのか。

**市長** コミュニティ運営協議会の組織強化を図りつつ、地域課題解決に向けた活動における必要な支援を地域と共に検討していく。